

病児保育事業推進のための、病児・病後児ファミリー・サポート・センターの活用による
保育士配置基準の緩和について

平成28年7月12日

徳島県

【 提案内容 】

病児保育事業（病児対応型、病後児対応型）における人員配置基準

（現行）看護師等を利用児童おおむね10人につき1名以上、保育士を3人につき1名以上

↓↓↓

（緩和）看護師等を利用児童おおむね10人につき1名以上、保育士を3人につき1名以上

もしくは保育士の代替として、専用の講習を受けたファミリー・サポート・センター（以下、ファミサポと略す）会員を利用児童1人につき1名の配置も可能とする。

【 提案による効果 】

- ・ 「潜在保育士」の言葉が示すように、保育士の確保が困難な状態であり、また保育士の配置が義務づけられていることから、病児保育施設での人材不足や固定人件費の負担が課題
 - ファミサポ会員を活用することで、柔軟な人材手当を可能とし、病児保育事業の安定した運営につなげ、地域子育て環境の向上に資する。
- ・ ファミサポ提供会員にとっては今まで（原則）提供会員の家庭で預かり
 - 病児保育施設での預かりとなることで、不安解消による積極的な預かりが可能となり、利用者の増は「仕事と子育ての両立」に直結する。

【 背景と県内の状況 】

- ・ 病児保育施設の県内地図及び稼働状況（別紙資料①）
 - 平成27年度末には20の市町村（内 広域連携8）で市町村が実施しておりまた県南の一部地域については国庫補助を活用し、県看護協会が設置している訪問看護ステーションとの連携により「病児病後児サポート事業」を実施し、カバーを行っている。
- ・ 保育士の確保状況（別紙資料②）
 - 「定員を超えた弾力的な受入に必要な保育士の確保」を含む、「保育士の確保が難しい状況にある」の回答が約半数を超えている。
また、保育士の募集・採用状況では正規、非正規全ての分野において充足状況がマイナスと、その確保について苦勞している状況がうかがえる。

- ・ ファミサポの活動状況（別紙資料③）

→ 27年7月に24市町村全てにファミサポ設置、同年11月に全市町村ファミサポが「国の基準を満たす50人以上の会員数」となった。会員数も年々上昇傾向であり、さらなる機能強化のために「病児・病後児預かり」の整備が求められている。

そのため、徳島県では平成28年度事業として県独自の上乘せ講習を開催し、会員のスキルアップを行うとともに、県下ファミサポ関係機関を全て網羅した連絡会を開催し、横の連携を深めていく予定である。

【 制度設計について 】

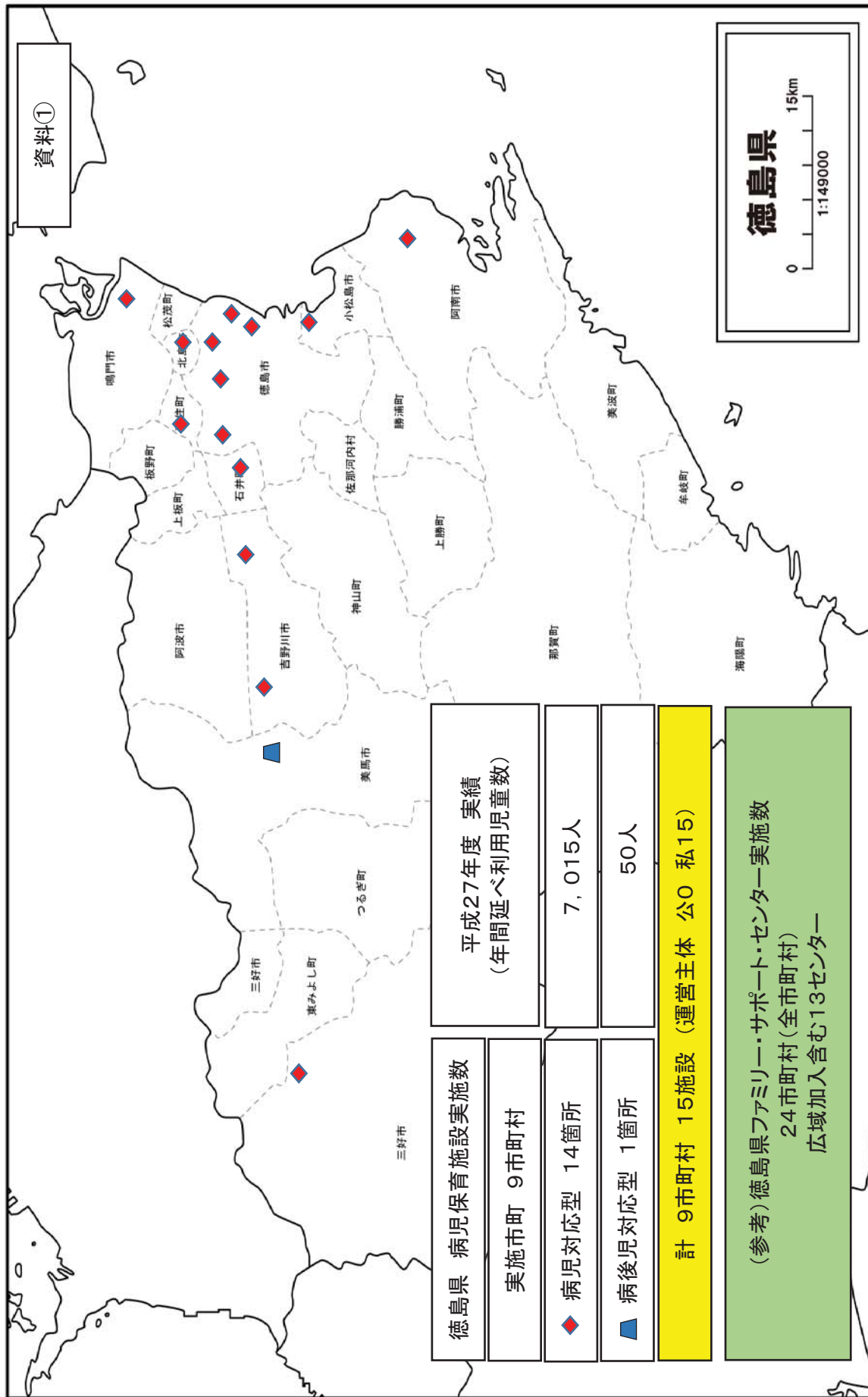
- ・ 現行の体制の比較については資料④、④-2のとおり。

→ 「通常講習＋県独自の研修を修了したファミサポ提供会員」の養成により、ファミサポ全体の一定の質を確保するとともに、地域の保育士不足に対応できるようにする。

- ・ 料金体系や人員配置等、具体的な制度内容については、今後厚労省との議論を踏まえつつ、具体的な制度設計や運用を考えていく必要がある。

【その他添付資料】

- ・ 資料⑤ ファミリー・サポート・センター周知チラシ
- ・ 資料⑥ 徳島県 病児保育施設一覧



資料②

保育士の確保状況調査結果(平成27年4月時点)

1. 保育士の確保状況		合計
①必要な保育士の確保が可能である		53
		48%
②定員を超えた弾力的な受入れに必要な保育士の確保が難しい状況にある		33
		30%
③予定していた保育の受け皿の増加に必要な保育士の確保が難しい状況にある		12
		11%
④既存の保育所等における既存の定員の維持に必要な保育士の確保が難しい状況にある		13
		12%
計		111
		-

2. 平成27年4月に向けた保育士の募集・採用状況	合計		
	募集人数	採用人数	充足状況
正社員	113	112	△17
非正規(常勤)	601	559	△58
非正規・パート	87	63	△25
計	801	734	△100

※募集人数を「若干名」とする施設があるため、必ずしも「充足状況＝募集人数－採用人数」とならない。

※募集人数を「若干名」とする施設の状況は±0としてカウント。

○徳島県内 ファミリー・サポート・センター 年度実績一覧

資料③

登録数	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	直近年度比較
依頼会員	2,742	3,407	3,842	4,461	4,796	5,097	5,526	429
提供会員	1,217	1,389	1,591	1,797	2,051	2,254	2,480	226
両方会員	601	656	679	742	793	820	871	51
合計	4,560	5,452	6,112	7,000	7,640	8,171	8,877	706

実施市町村数	13	14	16	18	18	19	24	5
--------	----	----	----	----	----	----	----	---

※27年7月に24市町村全てにファミサポ設置、

同年11月に全市町村ファミサポが国の基準を満たす50人以上の会員数」となった。

資料④

現行の体制との比較

	現行	案
根拠法令等	病児保育事業実施要綱	
人員の配置基準	看護師等	看護師等
	児童概ね10人以上	児童概ね10人以上
	保育士	保育士
	児童概ね3人以上	児童概ね3人以上
		児童 1人につき1名

	現行	案
根拠法令等	子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業) 実施要綱	
病児・病後児預かり可能な提供会員	24時間講習を受けた提供会員	24時間講習+県独自の7.5時間研修を受けた提供会員



上乘せ7.5時間研修の詳細は別紙資料④-2参照

病児・病後児保育研修、24時間講習の比較

	病児・病後児保育 研修 (訪問型)	病児・病後児保 育研修	24時間 講習	病児・病後児研修 に必要と思われる 時間数
病児病後児預かりの概要	30分	30分	—	30分
乳幼児の生活と遊び	60分	—	120分	—
病児・病後児の発達・心理 を理解した上での遊び	60分	60分	—	—
乳幼児の発達と心理	90分	—	120分	—
乳幼児の食事と栄養	60分	—	120分	—
病児・病後児保育を利用す る子どもの主な症状と対応	120分	60分	240分	120分
薬に関する知識	30分	30分	—	30分
リスクマネジメント	90分	90分	—	60分
子どもの一次救命措置法	90分	90分	180分	—
心肺蘇生	実技 120分	—	(講義・実技)	—
病児・病後児保育における 感染症対策	90分	90分	—	90分
子どもが病気の時の保護者 支援	90分	30分	—	60分(虐待含む)
病児・病後児保育訪問型の 保育内容	120分 (講義・演習)	—	—	—
病児・病後児保育訪問型に おける環境整備	60分	—	—	60分(提供会員宅 での環境整備)
病児・病後児保育訪問型の 運営	60分	—	—	—
病児・病後児保育訪問型保 育者の職業倫理と配慮事項	90分 (講義・演習)	—	—	—
子どもの虐待	60分	—	—	—
特別に配慮を要する子ども への対応(0～2歳)	90分	—	120分	—
実践演習	1～2日	—	—	—
実施自治体の制度について (任意)	60分(任意)	—	—	—
合計	24.5時間+1～2日	8時間	15時間	7.5時間

病児・病後児保育研修

科目名	区分	時間数	内容	目的
病児病後児保育の概要 (県担当課)	講義	30分	①地域子ども・子育て支援事業としての病児保育事業 ②地域連携による子育て支援の必要性	地域子ども・子育て支援事業における病児保育の意義や特徴について理解する。
病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状と対応 (医師)	講義	120分	①主な症状とケア（発熱、咳、下痢、嘔吐） ②乳幼児の健康観察のポイント ③発育と発達について（母子健康手帳、予防接種について） ④衛生管理・消毒について	①病児・病後児保育を利用する子どもの主な症状を知り、その対応について理解する。 ②保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について理解する。 ③現場に生かせる、より具体的な対応を理解する。 ④健診や母子健康手帳の意義、記載内容について理解する。 ⑤予防接種について理解する。
薬に関する知識 (薬剤師)	講義	30分	①乳幼児の薬 ②薬の与え方 ③薬の預かりについて	薬に関する知識、与え方について理解する。
リスクマネジメント (看護師)	講義	60分	①アレルギー ②アナフィラキシー ③熱性けいれん ④乳幼児突然死症候群（SIDS） ⑤環境整備と緊急事態等	①アレルギー疾患について理解する。 ②アナフィラキシーについて学びその対応について理解する。 ③熱性けいれんについて学びその対応について理解する。 ④乳幼児突然死症候群（SIDS）について学びその対応について理解する。 ⑤保育現場での子どもの事故予防のポイントについて理解する。 ⑥症状別に緊急時における対応を学び、緊急時に備えた日常からの準備について理解する。

病児・病後児保育における感染症対策 (医師)	講義	90分	①感染経路を理解したうえでの対策 ②病児・病後児保育における感染症対策の実践ポイント ③注意が必要な主な感染症と対策 ④予防接種	感染症と感染経路を学びその対応と対策について理解する。
子どもが病気の時の保護者支援 (病児保育士または看護師)	講義	60分	①子どもが病気の時の保護者支援 ②子ども虐待とは ③虐待が及ぼす影響 ④虐待を受けた子どもにみられる行動特徴 ⑤子ども虐待の発見と通告 ⑥不適切な関わりを防ぐために	①子どもが病気になった際の看護方法等について、保護者が適切なケアを行えるよう、その支援方法について学ぶ。 ②子ども虐待に関する基本的事項について理解する。 ③保育における虐待の発見、対応の基礎について理解する。 ④虐待など不適切な関わり方をしないための配慮すべき事柄について理解する。
病児・病後児保育における環境整備 (病児保育士)	講義	60分	①保育環境を整える前に ②環境のチェックポイント	①保育環境の準備にあたり、基本的な考え方と配慮事項について理解する。 ②保育に必要な設備、備品を確認し、自己点検を行えるようにする。
合計		7.5時間		

ファミサポ 24 時間講習

講習内容	時間数
1.保育のこころ	120分
2.心の発達とその問題	240分
3.身体の発達とその問題	240分
4.小児看護の基礎知識	240分
5.安全・事故	120分
6.子どもの世話	120分
7.子どもの遊び	120分
8.子供の栄養と食生活	120分
9.保育サービスを提供するために	120分
合計	24時間